（№　L-2022-003）

CI-NET LiteS実装規約改善要求書（CHANGE REQUEST）（案）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発信者記入欄 | 事務局記入欄 | | | | | |
| 発信日　　2022年　xx月　xx日 | 受信日　　　　年　　　月　　　日 | | | | | |
| 会社名　安藤ハザマ | 反映対象バージョン： | | | | | |
| 企業識別コード　211040 | Ver. | 2 | . | 2 | ad. | 1 |
| 部署名　経営戦略本部DX戦略部システム開発基盤グループ | 事務局処理記入欄 | | | | | |
| 担当者名　西村高志 |
| 連絡先 TEL: 03-3575-6097  FAX: 03-6234-3709 |
| 件名　[1008]帳票年月日の定義､運用の詳細での例示の改訂 | | | | | | |

◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）

【要求内容】

1. 改訂対象

・[1008]帳票年月日

1. 問題点

　国税庁　【参考資料】インボイス制度に関するＱ＆Ａに問１に記載の通り、適格請求書には、「課税資産の譲渡等を行った年月日」を記載することとなっている。

[1008]帳票年月日　の定義は､

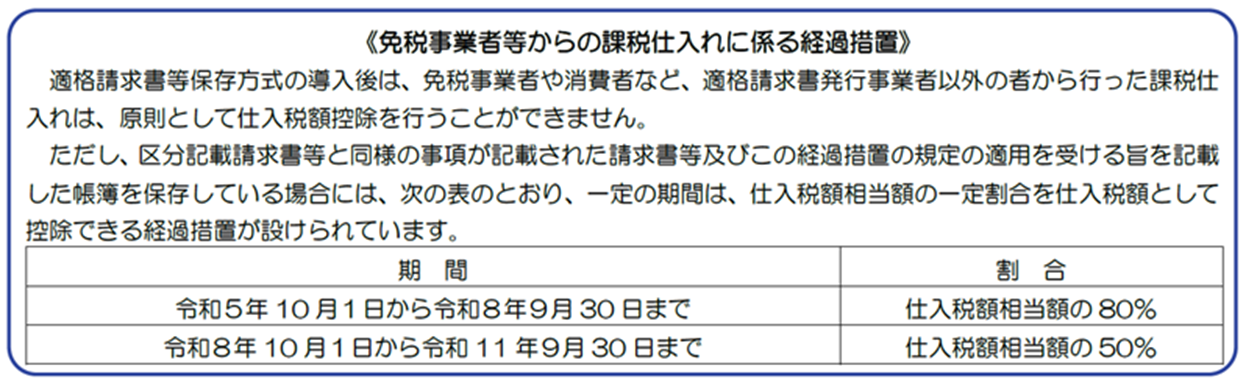
|  |
| --- |
| [1008]帳票年月日  　帳票に記載する年月日。例として、見積依頼メッセージにおいては見積を依頼した年月日を、見積回答メッセージにおいては見積を回答した年月日を示す。 |

であり､例示によって､各メッセージにおける発行した年月日を記載すると誤解されやすい表現となっている。

　そのため､本来、課税資産の譲渡等を行った年月日は2022年9月20日、仕入額相当額の100%であるにもかかわらず､請求メッセージを発行した年月日とした場合仕入額相当額の80%とみなされる恐れがある。発注者と受注者で経過措置の適用に差異が生じてしまう｡

表1　出来高･請求メッセージの[1008]帳票年月日における発注者と受注者で経過措置の適用に差異が生じる例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ■[1008]帳票年月日  各メッセージの発行年月日 | | | ■[1008]帳票年月日  課税資産の譲渡等を行った年月日 | | |
|  | [1008]帳票年月日 | 経過措置 |  | [1008]帳票年月日 | 経過措置 |
| 出来高報告 | 2022/9/20 | 仕入額相当額の100% | 出来高報告 | 2022/9/20 | 仕入額相当額の100% |
| 出来高確認 | 2022/9/30 | 仕入額相当額の100% | 出来高確認 | 2022/9/20 | 仕入額相当額の100% |
| 請求 | 2022/10/1 | 仕入額相当額の80% | 請求 | 2022/9/20 | 仕入額相当額の100% |
| 請求  確認 | 2022/10/2 | 仕入額相当額の80% | 請求  確認 | 2022/9/20 | 仕入額相当額の100% |

表2　免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置

｢消費税の仕入税額控除制度における適格請求書等保存方式に関するＱ＆Ａ　平成 30 年６月（令和４年４月改訂）国税庁軽減税率・インボイス制度対応室国税庁､（免税事業者からの仕入れに係る経過措置）問89｣より抜粋｡

1. 改訂内容
2. 定義の改訂

変更前

----------開始----------

＜本文＞

|  |
| --- |
| [1008]帳票年月日  　帳票に記載する年月日。例として、見積依頼メッセージにおいては見積を依頼した年月日を、見積回答メッセージにおいては見積を回答した年月日を示す。 |

変更後

＜本文＞

|  |
| --- |
| [1008]帳票年月日  　帳票に記載する年月日。~~例として、見積依頼メッセージにおいては見積を依頼した年月日を、見積回答メッセージにおいては見積を回答した年月日を示す。~~ |

1. 運用の詳細の改訂
2. 運用の詳細の全体ルール

以下の全体ルール､｢・年は西暦4桁を使用する。｣から｢【例】20210601｣までは､改訂は不要｡

・年は西暦4桁を使用する。

・YYYYMMDDフォーマットを使用する。

YYYY: 西暦年4桁

MM: 月2桁

DD: 日2桁

【例】20210601

1. ｢■B.Ⅱ建築見積｣､｢■B.Ⅲ.設備見積｣､｢■B..Ⅳ.設備機器見積｣､｢■B..Ⅴ.購買見積｣､｢■B.Ⅵ.注文｣､｢■B.Ⅶ.出来高・請求・立替金・契約打切｣､｢■B..Ⅷ..支払通知｣､｢■B. Ⅸ.工事請負契約外取引｣の運用の詳細｣､｢■B. Ⅹ.基本契約｣､｢■B. Ⅺ.建築積算｣の運用の詳細

メッセージごとに記載されているので､改訂は不要｡

■B.Ⅱ建築見積

表B.Ⅱ- 1　帳票年月日

|  |  |
| --- | --- |
| メッセージの種類 | [1008]帳票年月日 |
| 建築見積依頼 | 発注者が見積依頼をする年月日。 |
| 建築見積回答 | 受注者が見積を回答する年月日。 |

■B.Ⅲ.設備見積

表B.Ⅲ- 1　帳票年月日

|  |  |
| --- | --- |
| メッセージの種類 | [1008]帳票年月日 |
| 設備見積依頼 | 発注者が見積を依頼する年月日。 |
| 設備見積回答 | 受注者が見積を回答する年月日。 |

■B..Ⅳ.設備機器見積

表B.Ⅳ- 1　帳票年月日

|  |  |
| --- | --- |
| メッセージの種類 | [1008]帳票年月日 |
| 設備機器見積依頼 | 発注者が見積を依頼する年月日。 |
| 設備機器見積回答 | 受注者が見積を回答する年月日。 |

■B..Ⅴ.購買見積

・「表 B.Ⅴ-2 帳票No.、参照帳票No.等の記載方法」を参照のこと。

表B.Ⅴ- 1　帳票No.、参照帳票No.等の記載方法

| メッセージ |  | [1007]  帳票No. | [1008]  帳票年月日 |  | [1009]  参照帳票  No. | [1010]  参照帳票  年月日 | [1300]  注文番号  枝番 | [1301]  参照帳票  No.2 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 購買見積依頼 |  | \*見積依頼  番号 | 見積を依頼した  年月日 |  | **見積番号** | － | － | － |
| 購買見積回答 |  | **見積番号** | **見積を回答した**  **年月日** |  | \*見積依頼  番号 | 見積を依頼  した  年月日 | － | － |
| 見積不採用通知 |  | 不採用  通知番号 | 不採用を通知した  年月日 |  | \*見積依頼  番号 | 見積を依頼した  年月日 | － | － |
| 確定注文 |  | \*注文番号 | 注文した  年月日 |  | － | － | \*注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |
| 注文請け |  | **請け書番号** | **注文を請けた**  **年月日** |  | \*注文番号 | 注文した  年月日 | \*注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |

\*：取引を特定するキー項目

【注】太枠　　　　は､受注者が発番する番号､年月日｡それ以外は発注者が発番する番号､年月日｡

■B.Ⅵ.注文

・「表 B.Ⅵ-6　[1007]帳票No.、[1009]参照帳票No.等の記載方法」を参照のこと。

| 表B.Ⅵ- 1　　[1007]帳票No.、[1009]参照帳票No.等の記載方法メッセージ |  | [1007]  帳票No. | [1008]  帳票  年月日 | [1009]  参照帳票No. | [1010]  参照帳票  年月日 | [1300]  注文番号  枝番 | [1301]  参照帳票No.2 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 確定注文 |  | \*注文  番号 | 注文した  年月日 | － | － | \*注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |
| 注文請け |  | **請け書番号** | **注文を請けた年月日** | \*注文  番号 | 注文した  年月日 | \*注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |
| 鑑項目  合意変更申込 |  | \*注文  番号 | 変更を申込んだ年月日 | － | － | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | （当初契約の）見積依頼  番号 |
| 鑑項目  合意変更承諾 |  | **変更**  **承諾番号** | **変更を承諾**  **した年月日** | \*注文  番号 | 変更を申込んだ年月日 | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | （当初契約の）見積依頼  番号 |
| 合意解除申込 |  | \*注文  番号 | 解除を申込んだ年月日 | － | － | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | （当初契約の）見積依頼  番号 |
| 合意解除承諾 |  | **解除**  **承諾番号** | **解除を承諾**  **した年月日** | \*注文  番号 | 解除を申込んだ年月日 | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | （当初契約の）見積依頼  番号 |
| 一方的解除通知(発注者発行) |  | \*注文  番号 | 解除を通知した年月日 | － | － | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |
| 一方的解除通知(受注者発行) |  | \*注文  番号 | **解除を通知した年月日** | － | － | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |
| 合意打切申込 |  | \*注文  番号 | 打切を申込んだ年月日 | － | － | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | （当初契約の）見積依頼  番号 |
| 合意打切承諾 |  | **打切**  **承諾番号** | **打切を承諾**  **した年月日** | \*注文  番号 | 打切を申込んだ年月日 | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | （当初契約の）見積依頼  番号 |
| 一方的打切通知(発注者発行) |  | \*注文  番号 | 打切を通知した年月日 | － | － | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |
| 一方的打切通知(受注者発行) |  | \*注文  番号 | **打切を通知した年月日** | － | － | \*（当初契約の）注文番号  枝番 | 見積依頼  番号 |

【注】「\*」は取引を特定するキー項目。

【注】太枠　　　　は､受注者が発番する番号､年月日｡それ以外は発注者が発番する番号､年月日｡

■B.Ⅶ.出来高・請求・立替金・契約打切

＜本文＞

【合意打切申込、出来高要請、出来高確認、請求確認、立替金報告】

・発注者が当該メッセージを発行した年月日を記載する。

【一方的打切通知】

・発注者あるいは受注者が当該メッセージを発行した年月日を記載する。

【合意打切承諾、出来高報告、請求、立替金確認】

・受注者が当該メッセージを発行した年月日を記載する。

■B..Ⅷ..支払通知

・次表に従う。

表B.Ⅷ- 1　[1007]帳票No.、[1008]帳票年月日の記載方法

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| メッセージ | |  | [1007]帳票No. | [1008]帳票年月日 |
|  |  |  |  | |
| 支払通知 | |  | 支払通知番号 | 支払通知をした年月日 |

■B. Ⅸ.工事請負契約外取引｣の運用の詳細

＜本文＞

・次表に従う。

表B.Ⅸ- 1　帳票年月日

|  |  |
| --- | --- |
| メッセージ | [1008]帳票年月日 |
| 工事物件案内 | ・発注者が工事物件案内をした年月日を記載する。 |
| 契約外請求 | ・受注者が契約外請求をした年月日を記載する。 |
| 契約外請求確認 | ・発注者が契約外請求確認をした年月日を記載する。 |

■B. Ⅹ.基本契約

・「表B.Ⅹ- 2　[1007]帳票No.、[1009]参照帳票No.等の記載方法」を参照のこと。

表B.Ⅹ- 1　[1007]帳票No.、[1009]参照帳票No.等の記載方法

| メッセージ |  | [1007]  帳票No. | [1008]  帳票年月日 | [1009]  参照帳票No. | [1010]  参照帳票年月日 | [1301]  参照帳票No.2 | [1302]  基本契約番号 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 基本契約申込 |  | \*基本契約申込の管理番号 | 基本契約を申し込んだ年月日 | － | － | 発注者が採番した見積依頼番号 | 基本契約申込の管理番号 |
| 基本契約承諾 |  | **基本契約承諾の管理番号** | **基本契約を承諾した年月日** | \*基本契約申込の管理番号 | 基本契約を申し込んだ年月日 | 発注者が採番した見積依頼番号 | 基本契約申込の管理番号 |

【注】「\*」は取引を特定するキー項目。

【注】太枠　　　　は､受注者が発番する番号､年月日｡それ以外は発注者が発番する番号､年月日｡

■B. Ⅺ.建築積算

* 以下のルールに従う。

表B.Ⅺ- 1　 帳票年月日

|  |  |
| --- | --- |
| メッセージの種類 | [1008]帳票年月日 |
| 建築見積依頼 | 発注者が見積依頼をする年月日。 |
| 建築見積回答 | 受注者が見積を回答する年月日。 |
| 建築積算 | 受注者が見積を回答する年月日。 |

1. 適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)への対応の改訂
2. ｢B.Ⅶ.出来高・請求・立替金・契約打切｣
3. ｢B. Ⅸ.工事請負契約外取引｣

1)､2)ともに以下を適用する｡

変更前

----------開始----------

適格請求書に必要な記載事項は、以下のとおり｡

* + 1. 適格請求書発行事業者の氏名または名称および登録番号
    2. 取引年月日

1. 取引内容（軽減税率の対象品目がある場合、その旨）
2. 税率ごとに区分して合計した対価の額（税抜きまたは税込み）および適用税率
3. 税率ごとの消費税額等（端数処理は一請求書当たり、税率ごとに１回ずつ）
4. 書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

* ｢税率ごとに区分｣とは､消費税10％、軽減税率8％および経過措置による各旧税率の分類を指す。

----------終了----------

変更後

----------開始----------

適格請求書に必要な記載事項は、以下のとおり｡

* + 1. 適格請求書発行事業者の氏名または名称および登録番号
    2. 取引年月日（課税資産の譲渡等を行った年月日）

1. 取引内容（軽減税率の対象品目がある場合、その旨）
2. 税率ごとに区分して合計した対価の額（税抜きまたは税込み）および適用税率
3. 税率ごとの消費税額等（端数処理は一請求書当たり、税率ごとに１回ずつ）
4. 書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

* ｢税率ごとに区分｣とは､消費税10％、軽減税率8％および経過措置による各旧税率の分類を指す。

｢適格請求書等保存方式の概要　－インボイス制度の理解のために－　国税庁､令和4年7月｣パンフレットより

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020006-027.pdf>

----------終了----------

◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）

【要求の理由】

仕入控除の要件として適格請求書には「課税資産の譲渡等を行った年月日」（取引年月日）を記載する必要がある。

【既存ユーザ等への影響】

現状と定義が違っているため、ユーザが困惑する影響が考えられる。インボイス制度とあわせ教宣が必要となる。

（№　L-2022-002）

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る

改訂チェックリスト

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る改訂に関して、下記に示す項目についてチェック（○、×）を行い、問題がある場合にはその内容および改善の方向等について「指摘事項等」の欄に記載するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 審議･検討日 | 2022年xx月xx日 |
| 審議機関 | （委員会／WG名等を記載）  標準委員会／LiteS規約WG |

|  |  |
| --- | --- |
| 改訂内容 | （提案者、対象メッセージ、新規項目名称・摘要等を記載）  免税事業者等の区分に対応するための課税分類コードの追加 |

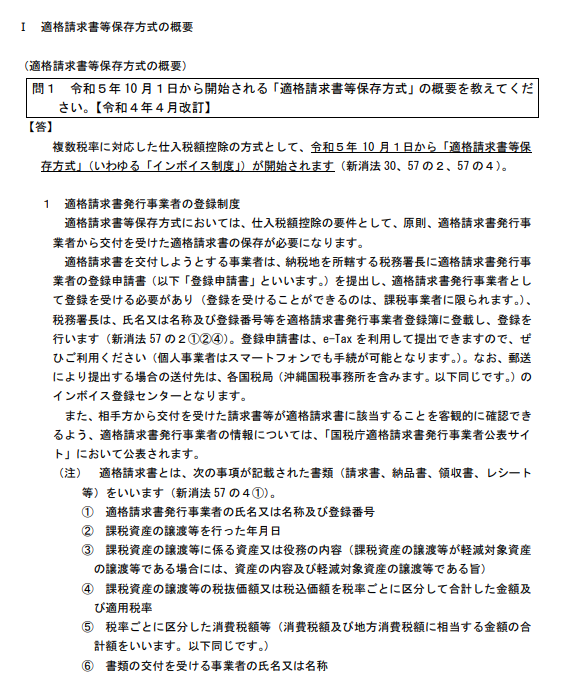
| チェック項目 | | ﾁｪｯｸ | 指摘事項等 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1.既存ユーザへの影響度合い | ①実稼動しているシステムの改修度合 |  |  |
| ②業務の見直し、変更への影響度合 |  |  |
| ③いずれのユーザの負担が大きいか |  |  |
| ④及ぼす影響の具体的な範囲や内容が見えているか否か |  |  |
| ⑤即時の対応が可能か否か |  |  |
| ⑥立場の違いなく対応が可能か否か |  |  |
| 2.各社固有の業務要件か | ①他ユーザの賛同の有無 | ／ |  |
| ②業務の変更による対応可否の検討有無 | ／ |  |
| 3.印刷要件か | ①各社の帳票出力に依存する項目が否か |  |  |
| 4.二重要件か | ①他項目での類似機能がないか |  |  |
| 5.定義の明確化 | ①類似項目との違いは明確か |  |  |
| ②規約全体を通して定義を明確にしているか | ／ |  |
| 6.改訂の緊急度 | ①即時対応の必要性の有無 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 審議結果 | (単に承認／非承認だけでなく、そのような結果となった理由等も記載)  ＜xxxx＞ |
| 今後の対応 | (上部審議機関への申し送り事項／差戻しの場合の再審議ポイントの提示など) |

|  |
| --- |
| 【チェック欄の凡例】  ○：問題なし  △：やや問題あり／指摘事項に対する配慮があるとよい  ／：対象外／該当しない  ×：問題あり／指摘事項への対応が必要 |

参考

｢消費税の仕入税額控除制度における適格請求書等保存方式に関するＱ＆Ａ　平成 30 年６月（令和４年４月改訂）国税庁軽減税率・インボイス制度対応室国税庁､（適格請求書等保存方式の概要）問1｣より抜粋｡



意見

2022/09/14(水)10:23平松(CEC)

ＣＥＣ内部で検討した結果について、以下ご報告します。

結論としては、現行規約の修正は不適切と考えます

理由としては、

まず、[1008]帳票年月日は、現在規約に記載されている表現（「例として、見積依頼メッセージにおいては見積を依頼した年月日を、見積回答メッセージにおいては見積を回答した年月日を示す。」）は適切と考えます。

CRで問題とされている、「課税資産の譲渡等を行った年月日」に相当する、データ項目はCI-NETにありませんが、かといって、発行日・依頼日の意味合いを持つ[1008]帳票年月日に、「課税資産の譲渡等を行った年月日」をセットするのは不適切であり、かつ本来の意味合いの日付が無くなるのは問題と考えます。

　運用としては、「送り状」やその他の項目等を利用して記載するのが適切と考えます。

CI-NETの請求における送り状は請求の一部と考えられますが、検討ください。理由は、請求データの一部を構成しているからで、実際保管データは送り状を含んでいます。

2022/09/14(水)11:09西村(安藤･間)

国税庁　インボイス制度に関するＱ＆Ａに問１に記載の通り、適格請求書には、「課税資産の譲渡等を行った年月日」を記載することとなっています。請求書等にこの年月日が記載されていない場合、適格請求書に該当致しません。

インボイス対応として必要項目となりますので、送り状では対応できません。

下記が根拠です｡

本資料p.12　｢消費税の仕入税額控除制度における適格請求書等保存方式に関するＱ＆Ａ　平成 30 年６月（令和４年４月改訂）国税庁軽減税率・インボイス制度対応室国税庁､（適格請求書等保存方式の概要）問1｣より抜粋｡

2022/09/15(木)8:32村瀬(CEC)

印刷したイメージが強すぎるのであり、EDIでやり取りされる情報は、データの集合体です。CI-NET LiteS実装規約Ver.2.2 ad.0(20220817)､A.情報伝達規約の電子メールの場合の｢3.1電子メールへのデータ格納の形式｣､ebMSの場合の｢3.3ペイロードコンテナ｣において､暗号化データ部に請求図書として集合体で格納されます｡